22日（土）昼の部 12時開演 ※開場は開演30分前

一、箏曲「令和薫風（れいわくんぷう）」 東京支部出演
尾上墨雪
花柳寿楽　市山松扇
松本幸龍　勝美伊三次
藤間紋　吾妻寛穂　城南ブロック
楳若　勧二郎　花柳園喜輔
坂東朋奈　松島金昇
藤見華香　林千永　城北ブロック
西川喜晶
花柳和
若柳吉以　城西ブロック

平成から令和へ、新元号を記念して協会東京支部が製作した新曲。舞踊と音楽で平和と安寧を願います。
振付・西川箕乃助
作詞・織田紘二
作曲・四代萩岡松韻

イヤホンガイド
22日昼の部
イヤホンガイドあり（日・英）

二、長唄「ねずみ」
茶屋娘実は大ねずみ　水木扇升
石見銀山薬売り　西川扇衛仁

実は大ねずみの茶屋娘が、ねずみ捕りを売り歩く薬売りをこらしめるという干支にちなんだ楽しい演目です。
振付・橘抱舟
作曲・四代杵屋勝太郎

三、常磐津「京人形（きょうにんぎょう）」
甚五郎　若柳彦三衛門
京人形　花柳貴代人

一途に想いをこめて彫った京人形が動き出します。最初は男のような動きですが、懐に鏡を入れると…。
京舞井上流のみに伝承される珍しい演目で、小栗判官にまつわる勇壮な一節を義太夫の語りにのせて舞います。
振付・二世井上八千代

四、義太夫「小栗曲馬物語（おぐりきょくばものがたり）」
井上八千代

五、新邦楽「道成寺昔語（どうじょうじむかしがたり）」
庄司の娘清姫　尾上紫
若き山伏安珍　花ノ本寿
上人　若柳宗樹
僧　五條珠太郎
西川一右
藤間豊彦
藤間涼太朗
若柳延祐
若柳三十郎

道成寺伝説を基に、安珍と清姫の愛に焦点をあて、新たな解釈で創作された現代の道成寺物です。
振付・尾上墨雪
作・海津勝一郎
作曲・常磐津英寿

22日（土）夜の部 16時30分開演 ※開場は開演30分前

一、「若獅子（わかじし）」
尾上菊透　花柳昌鳳生
花柳九州光　藤間直三
花柳寿々彦　若見匠祐助
花柳静久郎

平成26年に初演され話題となった本作、邦楽囃子の多彩な音色と男性日本舞踊家による圧倒的な群舞にご期待ください。
振付・弧の会
作曲・若獅子会

二、長唄「春調娘七種（はるのしらべむすめななくさ）」
十郎　西川扇左衛門
静御前　花柳秀衛
五郎　若柳里次朗

新春の七草と曽我狂言をからめた趣向が面白く、華やかな気分の中に古風さも楽しめる顔見世舞踊です。

三、地歌「きぎす」
与五郎　山村友五郎
吾妻　吉村古ゆう

物狂いの男・与五郎と恋人・吾妻の道行を描きます。上方舞らしい情趣豊かな雰囲気をお楽しみください。

四、清元「吉原雀（よしわらすずめ）」
鳥売の男　若柳壽延
鳥売の女　藤間恵都子

舞台は江戸の吉原、放生会に訪れた鳥売りの男女が、粋で艶っぽい廓遊びの雰囲気を華やかに踊ります。

五、常磐津「椀久色神送（わんきゅういろがみおくり）」
椀久　藤間蘭黄
松山　市川翠扇
番頭　花柳寿太一郎
町娘　藤間扇里
水木優翠
若柳絵莉香

大正に初演された数ある椀久物の中でも異色の演目で、椀久と松山の恋の悲劇をドラマティックに描きます。

23日（日）昼の部 12時開演 ※開場は開演30分前

一、箏曲「令和薫風（れいわくんぷう）」 東京支部出演
尾上墨雪
花柳笹公　花柳寿美蔵
若柳吉優　藤蔭里燕　中央ブロック
楳若勘代　水木紅耶　城南ブロック
花柳喜衛文華
花柳昌克　西川扇重郎
藤間蘭駒　藤間秀曄　城北ブロック
西川大樹
花柳寿芽月
坂東映司
藤間仁凰　城西ブロック

22日に続いて序幕を飾る本作品。歌詞には、令和の典拠となった万葉集「梅花の歌」が詠み込まれています。
振付・西川箕乃助
作詞・織田紘二
作曲・四代萩岡松韻

二、長唄「風流陣（ふうりゅうじん）」
梅の精　花柳楽彩
桜の精　若柳杏子
桃の精　藤間翔央
風の神　泉秀樹

仲よく遊ぶ梅、桜、桃の花たちが天敵の風の神を罠にかけます。若柳十種の一つで、明るくメルヘンチックな人気曲です。
振付・初代若柳吉蔵

三、清元「落人（おちうど）」
お軽　中村梅
早野勘平　猿若清三郎

主君への不忠のため逃避行に旅立つ勘平とお軽。若い二人の悲痛な恋の道行を切なくも美しく描きます。
振付・藤間勘祖

四、奏風楽「おりき」
吾妻徳穂

樋口一葉の小説「にごりえ」の主人公おりき。東京の下町で恋に生きる明治の女性を艶やかに映し出します。
振付・二代花柳壽應
作詞・駒井義之
作曲・清元梅吉

五、長唄「綱館（つなやかた）」
真柴実は茨木童子　松本幸四郎
渡辺源次綱　花柳典幸

切り落とされた片腕を取り返すため綱の館を訪れる鬼女。姿を見破られ、綱と壮絶な闘いを繰り広げます。
振付・西川鯉三郎

23日（日）夜の部 16時30分開演 ※開場は開演30分前

一、「烏鷺の曲（うろきょく）」
花柳智寿彦　坂東はつ花
若柳恵華　坂東冨起子
吾妻寛彌　藤蔭静千華
西川申晶　藤蔭静寿
花柳和あやき　藤間勘舞恵
花柳寿華　若柳薫子　藤間鶴熹
花柳路太　若柳美香康
花柳基はるな

お互いのテリトリーを守るため争う烏と鷺。傷つきながらも果てしない争いを女性群舞で描く創作舞踊です。
振付・坂東三信之輔、花柳昌太朗
作詞・杉昌郎
作曲・今藤政太郎

二、長唄「臥猫（ふしねこ）」
牡猫　中村橋之助
牝猫　若柳佑輝子

牡猫と牝猫のほのぼのとした戯れを擬人化して踊ります。二人の男女のかわいい猫のしぐさにご注目ください。
振付・二代目楳茂都扇性

三、長唄「賤機帯（しずはたおび）」
狂女　藤間洋子
舟長　西川箕乃助

我が子を失い物狂いとなった狂女とその身の上を知り慰める舟長。哀切な物語が胸に響きます。
振付・藤間勘祖

四、清元「保名（やすな）」
花柳壽應

春の野辺、恋人榊の前の死を哀しみ安倍保名がさまよいます。日本舞踊屈指の人気演目を新演出でご覧いただきます。

五、常磐津「戻橋（もどりばし）」
扇折小百合実は愛宕の鬼女　水木佑歌
渡辺源次綱　花柳基
従者左源太　花柳昌克
従者右源太　藤間直三

新古演劇十種の一つで歌舞伎舞踊の名作。戻橋で出会う小百合と渡辺綱。綱は小百合を鬼女と見抜きますが…。
振付・初代花柳壽輔